

## インターフェイスRXの使用率

•インターフェイス RX の使用率 (1ページ)

## インターフェイスRXの使用率

このアラームは、受信トラフィック情報をモニターし、インターフェイスのRX 使用率が指定 した範囲外になった場合にトリガーされます。このアラームを設定するには、次の手順を実行 します。

## 手順

- **ステップ1** メインウィンドウで、<sup>1</sup> ≥ [設定(Configure)] > [ポリシー(Policies)] の順にクリックします。
- ステップ2 [ポリシーを追加(Add Policy)]をクリックします。
- **ステップ3** [名前 (Name)] フィールドでポリシー名を入力します。
- ステップ4 [トリガー (Triggers)] で、[ルールの追加 (Add Rules)]をクリックします。
- ステップ5 [インターフェイス RX の使用率 (Interface RX Utilization)] をクリックします。
- **ステップ6** [次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ7** デフォルトでは、ルールが有効になっています。ルールをまだ使用しない場合は、スイッチを[無効 (DISABLED)]に切り替えます。
- **ステップ8** このアラームをトリガーする使用率の範囲を示すには、スライダを使用します。使用率が赤色とALARM テキストで示される範囲内にある場合、Crosswork Cloud から通知が届きます。
- ステップ9 [重大度 (Severity)]ドロップダウンリストで、このアラームに定義する重大度を選択します。
- **ステップ10** その他の必要なインターフェイスおよびエンドポイント通知の設定を行い、[保存(Save)]をクリック します。



I

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。